

各機関の取組状況について

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成31年2月現在

事項	項目 内容	目標時期	北陸地整	気象台	長野県	市町村		
						対象市町村数	取組市町村数	取組率
1. ハード対策の主な取組								
■洪水を河川内で安全に流すための対策								
①	・堤防整備 ・河道掘削 ・漏水対策	引き続き実施	○					
②	・既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保	引き続き検討	○					
■危機管理型ハード対策								
③	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	H28年度から順次整備	○					
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備								
④	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	H28年度から検討	○					
⑤	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	H28年度から順次整備	○	○				
2. ソフト対策の主な取組								
① 千曲川・犀川の大規模水害における特徴を踏まえた避難行動の取り組み								
■情報伝達、避難計画等に関する取組								
⑥	①リアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信など防災情報の充実	引き続き実施	○		○	17	17	100%
⑦	②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	順次実施	○	○	○	17	12	71%
⑧	③関係者が一体となったタイムラインの想定最大規模降雨における防災行動の見直し及びタイムラインの作成支援	順次実施	○	○	○	3	(0) 1	33%
⑨	④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	H28年度から順次実施	○		○			
⑩	⑤立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	H28年度から順次実施	○		○	14	(7) 5	36%
⑪	⑥参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	H28年度から検討	○	○	○	16	(8) 0	0%
⑫	⑦広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	H28年度から順次実施	○			16	(7) 9	56%
⑬	⑧水位予測の検討及び精度の向上	H28年度から検討	○		○			
⑭	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	H29年度から実施		○				
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組								
⑮	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所共同点検の実施	順次実施	○	○		17	(5) 8	47%
⑯	②小中学校等における水防災教育の実施	引き続き実施	○	○	○	17	(2) 9	53%
⑰	③出前講座等を活用し、水災害等に関する説明会を開催	H28年度から実施	○	○		8	(0) 8	100%
⑱	④まるごとまちごとハザードマップを整備	順次実施	○		○	12	(9) 1	8%
⑲	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	○	○	○	17	(2) 11	65%
⑳	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	順次実施			○	17	16	94%
㉑	⑦避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成	H28年度から検討				17	(13) 3	18%

・()内は検討中。
・実数は実施済みの市町村数。
・取組率は実施済みの市町村数。

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

平成31年2月現在

項目						市町村		
事項	内容	目標時期	北陸地整	気象台	長野県	対象市町村数	取組市町村数	取組率
2. ソフト対策								
② 避難時間確保のための水防活動の取り組み								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組								
22	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○	○	17	(3) 14	82%
23	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	引き続き実施	○	○	○	16	(2) 11	69%
24	③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	引き続き実施	○		○	15	(2) 11	73%
25	④水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	引き続き実施			○	17	(1) 16	94%
26	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	引き続き実施	○		○	16	(1) 12	75%
27	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○		○	8	(5) 2	25%
28	⑦防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	引き続き整備				4	4	100%
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組								
29	①要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	H28年度から順次実施	○			12	(3) 9	75%
30	②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	H28年度から実施	○		○			
2. ソフト対策								
③ 一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み								
■救援・救助活動の効率化に関する取組								
31	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	H28年度から検討	○			14	(11) 2	14%
■排水計画案の作成及び排水訓練の実施								
32	①大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	引き続き実施	○		○	15	(11) 0	0%
33	②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	引き続き実施	○		○	17	(4) 11	65%
34	③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	引き続き実施	○		○	1	1	100%

・()内は検討中。
 ・実数は実施済みの市町村数。
 ・取組率は実施済みの市町村数。

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成するための各機関の取組状況

項目	課題の対応	目標時期	北陸地方整備局			長野地方気象台			長野県			長野市			松本市		
			具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定
2. ソフト対策 ②避難時間確保のための水防活動の取り組み																	
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																	
22	1.水防団等への連絡体制の確立と普及も併せて、実践的な情報伝達訓練の実施	JK	引き続き実施	洪水対応演習の実施	引き続き左記を実施	情報伝達訓練への支援【引き続き実施】	水害に係る情報伝達訓練への支援【引き続き実施】	情報伝達訓練への支援【引き続き実施】	情報伝達訓練の実施【引き続き実施】	市で実施	同左	水防訓練による情報伝達訓練の実施	平成30年6月2日(土)に水防技術講習会を併せて、ドローンを使用した情報収集及び伝達訓練を行った。	引き続き実施	水防団等への連絡体制の確立	水防団等への連絡体制の確立	水防団等への連絡体制の確立
23	2.自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所への合同点検の実施	K	引き続き実施	重要水防箇所の情報提供、共同点検を実施	引き続き左記を実施	河川事務所が実施している共同点検(河川道視)に参加した	河川事務所や県が実施している共同点検(河川道視)に参加した	河川事務所や県が実施している共同点検(河川道視)に参加した	重要水防箇所の情報提供、共同点検【引き続き実施】	重要水防箇所を点検	同左	毎年、出水期前に、河川管理者、水防団等の関係機関と重要水防箇所合同点検を実施している。	引き続き実施	重要水防箇所の合同点検に参加する。	平成30年5月22,23日に参加	重要水防箇所の合同点検に参加予定	
24	3.毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	JK	引き続き実施	総合水防演習の実施(又は参加)	総合水防演習の実施(又は参加)				毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施【引き続き実施】	引き続き実施	引き続き実施	毎年、出水期前に、河川管理者、水防団、市職員と合同で、水防訓練を実施している。なお、訓練の中で水防技術の伝達も行っている。	引き続き実施	水防団(水防団)訓練にあわせて実施を検討する。	水防団(水防団)訓練にあわせて実施を検討する。	水防団(水防団)訓練にあわせて実施を検討する。	
25	4.水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	JK	引き続き実施									毎週改善を図るとともに、消防団員の割引制度や消防団員が事業所の倉庫、倉庫等の修繕や、その他各種行事での広報活動を通じて、入居促進に積極的に取り組んでいる。	引き続き実施	水防団員や消防団員の募集の強化【継続】	水防団員や消防団員の募集の強化を実施	水防団員や消防団員の募集の強化を実施予定	
26	5.県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	JKL	引き続き実施	水防技術講習会に参加	水防技術講習会に参加				水防技術講習会に参加【引き続き実施】	市の消防団訓練に水防工法講習として参加	同左	水防訓練の中で消防団員を対象に実施している	引き続き実施	水防団(水防団)訓練にあわせて実施【継続】	水防団(水防団)訓練にあわせて実施	水防団(水防団)訓練にあわせて実施予定	
27	7.大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	IL	H28年度から検討	復旧活動の拠点等配置計画を検討	引き続き実施				道路状況も踏まえ設置済み	設置済み	同左	出水期前に、各水防倉庫の備蓄資材の点検、整備を実施した。また、平成30年6月2日(土)に実施した水防技術講習会において、備蓄資材を実際に使用した。水防倉庫の配置計画については、予想的な部分も踏まえて検討し、現状維持とした。	引き続き実施	物資集積拠点(高内)の設計	物資集積拠点(高内)の設計	物資集積拠点(高内)の造成工事に着手	
28	7.防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA組織の整備	H.IJK	引き続き整備														各町会会長及び各水防団(消防団)に配備【済】
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																	
29	1.要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	M	H28年度から順次実施	技術的助言を行う	引き続き左記を実施							要配慮者利用施設への避難確保計画策定の支援を行う。	引き続き実施	避難確保計画の作成支援を実施	避難確保計画の作成支援を実施	避難確保計画の作成支援を実施	
30	2.大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	M	H28年度から実施	技術的助言を行う	引き続き左記を実施												
2. ソフト対策 ③一刻も早く社会経済活動を回復させるための排水活動の取り組み																	
■救済・救助活動の効率化に関する取組																	
31	1.大規模災害時の救済・救助活動支援のための拠点等配置計画の検討を実施	N	H28年度から検討	広域支援拠点等の検討支援	引き続き左記を実施							本庁舎は、実施済み	長野市役所本庁舎及び支所を災害時の拠点として適宜の点検、整備を実施。大規模災害時は、長野市市街地災害時対応協定に基づき検討を実施	引き続き実施	移動系及び同報系無しの確保と行方不明者(市民監視カメラ)に設置済み(もう1ヶ所は庁舎1Fに設置)	庁舎改築にあわせて検討	庁舎改築にあわせて検討
■排水計画の作成及び排水訓練の実施																	
32	1.大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	N	引き続き実施	排水ポンプ車の最適配置計画の検討(犀川市)	引き続き配置計画の検討を進める。				県有排水ポンプ車を県内に3台配置。排水ポンプ車の操作訓練も実施	排水ポンプ車の操作訓練を引き続き実施	同左	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可搬式ポンプを配備。排水活動訓練については各地域の判断で実施。【済】	平成30年度において、可搬式ポンプ1台を松代地区に更新配備した。	平成31年度において、可搬式ポンプ1台を更新配備予定	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施予定
33	2.排水ポンプ車の出動要請の連絡体制を整備	N	引き続き実施	水防講習会にて連絡体制を確立	引き続き左記を実施				連絡体制の整備【引き続き実施】	引き続き実施	同左	連絡体制の整備【引き続き実施】	出動要請の連絡体制の整備については、現在各町会、各河川上下流部の特報、浸水想定区域等を踏まえ、体制整備の協議を行う。	引き続き、検討を進める。	連絡体制の整備を検討を実施	連絡体制の整備を検討を実施	連絡体制の整備を検討を実施予定
34	3.関係機関が連携した排水実働訓練の実施	N	引き続き実施	5月29日中野管内にて関係機関連携の排水ポンプ車稼働演習を実施	自治体等が実施する排水訓練への参加				引き続き実施	5月29日国交省中野管内にて関係機関連携の排水ポンプ車稼働演習を実施	関係機関連携の稼働訓練について、引き続き実施	防災訓練において排水訓練を実施	平成30年6月に実施した長野市水防訓練において、関係機関参加のもと、ポンプ車稼働出動等の排水訓練を実施。	引き続き、実施予定			

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成する

項目	課題の対応	千曲市			安曇野市			生坂村			池田町			松川村			
		具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	
1. ハード対策の主な取組																	
■洪水を河川内で安全に流すための対策																	
①	堤防整備 ・河堤掘削 ・洪水対策																
②	既設ダムを有効活用した洪水調節機能確保																
■危機管理型ハード対策																	
③	「堤防天端の保護」 ・堤防護法民の増強																
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する取組																	
④	1)新技術を活用した水防資機材の検討及び配備																
⑤	2)内河川避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置																
2. ソフト対策の主な取組 ①千曲川・犀川																	
■情報伝達、避難計画等に関する取組																	
⑥	1)リアルタイムの情報提供やブッシュ情報の発信など防災情報の充実	・メール配信サービス、緊急連絡メール、ケータイメール配信サービスの活用【済】	・災害時にメール配信サービスの使用	・災害時にメール配信サービスの使用	・緊急連絡メール、事前登録のメール配信サービスへの登録、各自治体の活用、災害協定に基づくコミュニティエフェクト、ケータイメール配信サービスの活用等	・緊急告知機能付き防災ラジオの購入経費への一部補助	・緊急告知機能付き防災ラジオの購入経費への一部補助	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線、緊急連絡メールを活用	・防災行政無線のデジタル化【済】	登録制メールの利用者増加を目的に、広報誌への系内掲載	引き続き登録者増加のため、広報誌への掲載等を実施していく	・ケータイテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等【済】	防災気象情報の活用	防災気象情報の活用	
⑦	2)避難勧告等の発令に資する防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証・改善	・未実施	・タイムラインの検証・改善	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインを作成	・地域住民を対象とした出前講座において周知する	・地域住民を対象とした出前講座において周知する	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善	・タイムラインの検証	・タイムラインの検証(改善の必要があれば)	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善【活用訓練等の実施】(H28年度～)	H29に大北圏域防災協議会が設立	左記協議会でのタイムライン作成に併せて、町のタイムラインも基調した【32年度まで】	・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善【活用訓練等の実施】(H29年度～)	未検証	タイムラインを改善するうえで、防災訓練にて実施	
⑧	3)避難者を一括となったタイムラインの想定最大規模発生に資する防災行動計画の作成支援				・想定最大規模発生における「浸水想定」に基づき、浸水想定区域の自主防災組織等に避難行動のタイムラインを作成	・未実施(ハザードマップH22更新後)	・未実施(ハザードマップH22更新後)										
⑨	4)想定最大規模も含めた浸水想定区域図、家屋明細等浸水想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)																
⑩	5)立ち寄り避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援	・ハザードマップの更新時に同時に検討を行う。	H32年度のハザードマップ更新時に合わせ検討	H32年度のハザードマップ更新時に合わせ検討	・区域の特定と避難計画作成への働きかけ	・避難計画作成支援	・避難計画作成支援	・ハザードマップの検討時に同時に検討を行う。	・ハザードマップの更新を実施	・ハザードマップの更新を実施	・自主避難計画等の作成に併せて内容を検証	・今後、検討予定	・必要と思われる区域に自主避難計画作成支援	・引き続き実施したい	・今後、検討予定	・区と移動方法の確認	
⑪	6)参加型町村による広域避難計画の策定及び支援	・関係市町村と広域避難計画について検討を開始する。	・未実施	・千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標達成に向けた関係市町村との協議を開始したい	・広域避難の必要性について検討	・未実施(ハザードマップH22更新後)	・未実施(ハザードマップH22更新後)	・広域避難について検討	・今後検討予定	・今後検討予定	・広域避難計画に照して協議【検討】(H32年度)	・未実施	・検討したい	・広域避難計画に照して協議【検討】(H32年度)	・県、関係市町村(協議)と策定の検討	・県、関係市町村(協議)と策定の検討	
⑫	7)広域的な避難計画等を反映した新たなハザードマップの策定・周知	・浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【H32年度～】	H32年度作成に向けて検討	H32年度作成に向けて検討	・浸水想定区域の更新に伴うハザードマップの更新・周知	・ホームページ公開中	・ホームページ公開中	・浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知	・ハザードマップの更新	・ハザードマップの更新	・ハザードマップの更新及び自主避難計画の作成に併せて策定を検討	・浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【H29年度】	・ハザードマップの整備・配布	・ハザードマップの更新等の予定なし	・浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの更新・周知【H30年度】	・変更の(策定)準備	・県の状況を踏まえ更新
⑬	8)水位予測の検討及び精度の向上																
⑭	9)気象情報発出時の危険度の色分け(「警戒レベル」)等の改善																
■平時から住民等への周知・教育・訓練																	
⑮	1)自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	・河川事務所と水防関係者で実施している重要水防箇所の点検を実施(住民の参加なし)	・関係者による重要水防箇所の点検を実施(住民の参加なし)	・河川事務所と水防関係者で実施している重要水防箇所の共同点検に地域住民の参加を呼び掛ける	・河川事務所と水防関係者で実施している重要水防箇所の共同点検を実施	・実施(住民の参加なし)	・河川事務所と水防関係者で実施している重要水防箇所の共同点検を実施	・河川事務所と水防関係者で実施している重要水防箇所の共同点検を実施	・重要水防箇所等の合同点検を実施	・重要水防箇所等の合同点検を実施	・河川事務所と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。【H28年度～】	・未実施	・実施したい	・河川事務所と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。【H28年度～】	・県と町で重要水防箇所の見直し	・関係する区において、重要水防箇所の確認	
⑯	2)小中学校等における水防教育の実施	・出前講座	・未実施	・学校前からの要望があれば実施	・出前講座の継続した開催	・防災教育に結びつく学校への支援	・出前講座の継続した開催	・出前講座の実施を検討	・出前講座の実施を検討	・出前講座等の実施を引き続き検討	・出前講座の継続した開催【H29年度～】	・未実施	・検討したい	・出前講座の継続した開催【H29年度～】	・なし	・防災士によるミニ講座を予定	
⑰	3)出前講座等を活用し、水災等に関する説明会を開催	・希望団体への出前講座の実施	・実施	・希望団体に出前講座を実施	・自主防災組織や消防団を対象とした出前講座を実施	・実施	・自主防災組織や消防団を対象とした出前講座を実施	・出前講座の実施を検討	・出前講座の実施を検討	・出前講座等の実施を引き続き検討	・実施する。	H30.10.13水防訓練時に大町建設事務所指導による講座	引き続き実施したい				
⑱	4)浸水想定区域とハザードマップを連携	・ハザードマップの見直しの際に検討。	H32年度のハザードマップ更新時に合わせ検討	H32年度のハザードマップ更新時に合わせ検討	・浸水想定区域とハザードマップの連携を強化	・未実施(ハザードマップH22更新後)	・未実施(ハザードマップH22更新後)	・ハザードマップの更新の際に検討	・ハザードマップの更新の際に検討	・自主避難計画の作成に併せて引き続き検討	・浸水、土砂災害、地滑り等を一纏めにハザードマップを全戸配布【H28年度】	・未実施	1,000年に1度の確率の浸水域が示された後、計画したい(L2)	・ハザードマップの更新	・自主避難計画の作成	・自主避難計画の作成	
⑲	5)効果的な「水防意識醸成」の構築に資する広報や資料の作成・配布	・「千曲市総合防災訓練」において資料の配布	・実施	・「千曲市総合防災訓練」において資料の配布	・防災訓練や出前講座にて市民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図る	・実施	・防災訓練や出前講座にて市民の防災意識を高め、地域防災力の向上を図る	・避難訓練の実施や防災訓練の実施	・避難訓練や医療救護訓練の実施	・避難訓練や医療救護訓練の実施	・防災訓練及び自主防災会での講習等の開催【H28年度～】	・未実施	・検討したい	・水防を入れた総合防災訓練の実施。	・なし	・資料配布を検討	
⑳	6)住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	・自主防災組織の防災活動支援補助金制度による活動支援	・自主防災組織の防災活動支援補助金制度による活動支援	・自主防災組織の防災活動支援補助金制度による活動支援	・自主防災組織が行う防災活動に必要経費を補助し、活動の活性化を図る	・自主防災組織の育成、強化	・自主防災組織の育成、強化	・自主防災組織の育成、強化	・自主防災組織の育成、強化	・自主防災組織の育成、強化	・自主防災会での講習等の開催【H28～】	・未実施	・自主防災会の研修等を検討したい	・自主防災組織の活用、強化【H28～】	・地域支え合いマップの更新、区独自の防災訓練	・地域支え合いマップの更新、区独自の防災訓練	
㉑	7)避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・作成を支援	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成について検討	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成について検討	・引き続き検討	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成【H28年度～】	・自主防災会マニュアル作成の中で、地域の避難誘導マニュアルの整備に向けた記載あり	左記作成支援を推進していく	・避難誘導マニュアル作成指針を活用し、地域版避難誘導マニュアルの作成【H29年度～】	・避難誘導マニュアルによる実践的な訓練を実施	・継続的に実施	

○千曲川・犀川大規模水害に関する減災目標を達成する

項目	事項	内容	坂城町		小布施町		木島平村		野沢温泉村		栄村	
			具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容	H30年度の取組状況	H31年度の取組予定	具体的な取組内容
2. ソフト対策 ②避難時間確保のため												
■水防活動の効率化及び水防体制の強化												
22	1	水防活動への連絡体制の確立と草葉も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	河川管理者と町、消防団の連絡体制を確立し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。タイムラインの活用も今後検討する。	協議・検討中	引き継ぎ協議・検討	総合防災訓練で実施	総合防災訓練に際し、消防団及び草葉の連携伝達訓練をメール配信により実施した。	総合防災訓練の中で実施を検討	総合防災訓練の中で実施を検討	総合防災訓練の中で実施を検討	総合防災訓練の中で実施を検討	総合防災訓練の中で実施を検討
		2	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の高台高標の実施	重要水防団所の情報共有・共同点検【済】	5月に点検実施済み	引き継ぎ実施	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査	国、県、町、消防団による重要水防団所の現地調査
		3	毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施	消防団を対象に、年1回実施済み	5月に実施済み	引き継ぎ実施						
		4	水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・指定を促進	地味消防協会の事業として、役員募集CMを制作し、市街の放送システム等で放映し、募集を強化【H28年度中】	町成人式、町民運動会などにおいて役員募集活動を実施	引き継ぎ実施	水防団員や消防団員の募集の強化【H28.8~】	自治会長と連携し、消防団員確保の取組を実施した【自宅訪問活動】	自治会長と連携し、消防団員確保の取組を実施した【自宅訪問活動】	自治会長と連携し、消防団員確保の取組を実施した【自宅訪問活動】	自治会長と連携し、消防団員確保の取組を実施した【自宅訪問活動】	自治会長と連携し、消防団員確保の取組を実施した【自宅訪問活動】
		5	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	水防訓練の際に毎年実施済み	実施済み	引き継ぎ実施						
		6	大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施				拠点等配置計画、検討準備	拠点等配置計画、検討準備	拠点等配置計画、検討準備	拠点等配置計画、検討準備	拠点等配置計画、検討準備	拠点等配置計画、検討準備
		7	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA組織の整備									
■要配慮者施設や大規模工場等の自衛												
		29	要配慮者利用施設による避難確保の計画の作成に向けた支援を実施	防災情報のメール配信システム整備	実施済み	引き継ぎ実施	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み	要配慮者利用施設の避難確保の計画作成の進捗、町へ提出済み
		30	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動									
2. ソフト対策 ③一刻も早く社会経済												
■救済・救助活動の効率化に関する取組												
		31	大規模災害時の救済・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	建設業協会等と協定済	実施済み	引き継ぎ実施	広域的に資材を運用するための協定等の検討【H28年度~】	消防地域災害時医療救護マニュアル策定【済】				
■排水計画の作成及び排水訓練の取組												
		32	大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画(案)の検討を実施	訓練としては実施済みであるが、大雨により増水し、可動ポンプで排水が必要な箇所は地元消防団も把握しており、過去にも実施し排水活動をした経験あり。	訓練は実施済み	訓練予定は未定だが、排水必要箇所の周知を徹底させる	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】	地区の要望に応じて、予算の範囲内で可動式ポンプを配備し、排水活動訓練については各地区の判断で実施【済】
		33	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	実施済み	引き継ぎ実施	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】	連絡体制の整備【引き継ぎ実施】
		34	関係機関が連携した排水訓練の実施									